

科目名		授業形態	担当教員名	
老年期障害治療学Ⅱ		演習・講義	小田 佳子・岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
老年期障害治療学Ⅰの授業で基礎的な知識を学んだうえで、実際の関わり方、作業療法の評価、援助方法についてグループ演習を通して学ぶ。実技を通してしょうがいをもつ高齢者への援助技術を習得する。				
授業の到達目標				
1. 高齢者への基本的なかかわり方を実践できる。 4. 老年期作業療法を企画・立案できる。 2. 老年期作業療法における評価項目をあげ、実践できる。 5. 対象者への介入方法を実践、説明ができる。 3. 上記の評価から問題点の焦点化ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	評価			
2	評価の実際			
3	高齢者の起居 移乗 介助法			
4	高齢者の姿勢の特徴と対応 良肢位保持			
5	高齢者の姿勢の特徴と対応 車いす調整 シーティング			
6	高齢者の姿勢の特徴と対応 車いす調整 シーティング			
7	介入事例①			
8	介入事例②			
9	リスク管理			
10	リスク管理			
11	家族と介護			
12	事例演習			
13	地域連携			
14	権利擁護 成年後見制度 その他			
15	まとめ			
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	上記の授業内容に準じて試験を行う		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	20%	グループ発表内容、実技演習、参加態度で評価をする		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
老年期の作業療法 改訂第3版	浅海奈津美・守口恭子	三輪書店		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
標準理学療法学・作業療法学 老年学 第5版	大内尉義	医学書院		
標準理学療法学・作業療法学 神経内科学 第5版	川平和美	医学書院		
自由記載				
備考				
授業の予定は前後変更する可能性がある。変更の場合は随時通知をする。 実技を行うため、動きやすい服装で参加すること。				